

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和 7年 7月 18日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 安永 敦美 電話番号： 03-6665-5300

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場
導入年月日	2003年 12月 19日
認証番号	E1221
基本方針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤FSC認証製品をはじめとした環境に配慮した商品の提供 ⑥積極的な環境コミュニケーション
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①環境事故・ヒヤリ・苦情 0件 ②エネルギー原単位 対前年1%削減 ③廃棄物処理費用 計画値必達 ④行政への環境関連 定期届出 ⑤品質マネジメントシステム（QMS）の推進
目標を達成するための取組の内容	①日本製紙グループ 環境事故の横展開、環境法令情報収集 ②省エネ・用排水員会、歩留まり改善 ③廃棄物員会、分別の継続、廃棄物業者視察 ④環境測定、産廃関連調査、温室効果ガス排出量調査 ⑤重大ご指摘件数の把握・対策
目標を達成するための取組の進捗状況	①環境事故0件、ヒヤリ3件、苦情0件 ②エネルギー原単位 対前年98.1%（年間） ③廃棄物処理費用 22.4万円/月（平均） ④月次（LNG使用量・組成表）、年次（大気・水質・騒音・産廃・温室効果ガス排出量） ⑤重大ご指摘件数 22件/29件以下（年間）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	環境事故0件、苦情0件と、概ね目標を達成した。環境法令順守の下、環境計器及び設備の点検・維持・管理を継続して取組んで行く。その他の目標についても、計画通り取組む事が出来た。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規の遵守状況については、本社からの情報と、法規制等要求事項登録簿の更新等により確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1回/1年の内部監査、認証機関による外部審査、経営者による見直しを行っている。令和6年度は、現行の目標及び取組み内容により、一定の成果が見られると判断している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。